

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	社会福祉士実習・演習担当教員講習会事業	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局	担当課室	福祉基盤課	定塚 由美子		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則(昭和62年厚生省令第50号)第3条第1号ト(4) ・社会福祉士介護福祉士学校指定規則(平成20年文部科学省、厚生労働省令第2号)第3条第1号ト(4)	関係する計画、通知等	・社会福祉士実習演習担当教員講習会及び介護教員講習会の実施について(平成20年11月11日社援発第1111002号厚生労働省社会・援護局長通知) ・民間社会福祉事業助成費(社会福祉士実習・演習担当教員講習会事業)補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢化の進行等による国民の福祉・介護ニーズの多様化・高度化に的確に対応できる資質の高い社会福祉士を養成するため、これらへの教育を担う福祉系大学及び社会福祉士養成施設等の実習・演習担当教員となる者に対し、教育カリキュラムの見直しを踏まえた講習会を実施し、教員の資質を高め社会福祉教育の高度化を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社団法人日本社会福祉士養成校協会において、福祉系大学及び社会福祉士養成施設等の実習・演習担当教員となる者に対し、実践的な相談援助の能力を養うための演習方法やグループワークの方法、実習指導方法を教授する51時間の講習会を実施。 補助率:定額					
実施状況	社団法人日本社会福祉士養成校協会において、福祉系大学及び社会福祉士養成施設等の実習・演習担当教員となる者に対する講習会を実施し、教員の資質向上及び社会福祉教育の高度化を図った。 【21年度実績】 13回、修了者791人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	4	3	3	2
	執行額	—	4	3		
	執行率	—	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	—	17	31		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業の進捗状況を随時把握するとともに、民間社会福祉事業助成費(社会福祉士実習・演習担当教員講習会事業)補助金交付要綱に基づき翌年度に提出される事業実績報告により確認。				
	見直しの余地	平成22年度に見直しを行った。				
予算監視の所見率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) ・社会福祉士実習・演習担当教員講習会事業について、必要性を見直し、優先順位を付けるなどにより効率化を図ること。					
補記						

厚生労働省
3百万円

【補助】
社団法人
日本社会福祉士養成校協会
3百万円

〔 社会福祉士実習・演習担当教員講習会事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 社団法人 日本社会福祉士養成校協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師謝金	1			
その他	講師旅費、職員旅費、庁費	2			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0